

八丈島特産園芸作物における生産振興技術対策

【研究概要】

八丈町農業生産額を維持・拡大するため、特産園芸作物における生産振興技術対策の試験を行った。

①ルスカスの夏季管理技術の確立では、有孔ダクトによる主要病害および遮光・遮熱資材によるこうじかび病に対する防除効果を確認した。

②アシタバ苗の生育障害の解明と対策では、アシタバの病害虫発生実態調査を2ヵ年実施するとともに、被害の大きかった株腐れ症状の原因検討を行った。

③施設栽培における樹上完熟「菊池レモン」の灌水・摘果指標の確立では、樹上完熟「菊池レモン」の施設栽培における適正葉果比は、1果重、収穫量、翌年の健全花数から判断すると露地栽培・未熟果収穫と同様25であった。発生基部径や発生角度は、大果を得るための摘果選択の判断指標となり得ることが分かった。

④特産園芸作物の病害虫防除対策についての検討では、バナナの新病害およびパッションフルーツのウィロイド発生を報告した。